



鍼灸おかやま

平成29年10月
第65号

発行：(公社)岡山県鍼灸師会

発行者：内田輝和

編集者：小原陸夫



＜倉敷美観地区 倉敷館（旧倉敷町役場）夜景＞

目次

会長挨拶	2
平成29年度定時総会開催報告	3
会長コラム 多事鍼言	4
福岡大洪水災害地医療 岡山県チームボランティア報告	5
第6回岡山城・後樂園カヌー駅伝大会ケアステーション開設報告	6
第25回津山加茂郷フルマラソン全国大会 第5回スポーツ鍼マッサージケアステーション開設 感想	7
平成29年度学術講習会開催報告・予定	8
いきいき元気講座～健康長寿への近道～開催報告	9
第4回AMDA災害鍼灸チーム育成プログラム報告	10
「平成29年度災害支援鍼灸師養成講座岡山」開催のご案内	11
第4回東洋医学鍼灸展in岡山開催報告・編集後記	12
ひとりのできるツボ養生法 その3	16

会 長 挨 拶



(公社)岡山県鍼灸師会会長 内田 輝和

加藤勝信大臣は鍼灸を考える会のメンバーであり、尽力を尽くして頂いている方です。今年8月3日、内閣改造において加藤勝信先生が厚生労働大臣に就任されました。

大臣就任後からテレビ出演も多く、国民から期待されているあらわれでしょう。

私達業界は弱小団体です。にもかかわらず業界が2つにも3つにも分かれていきます。数は力なりとは世の中の組織構成にはかせません。上部組織は古くは日本鍼灸師会を中心として来ていましたが、その後新たな組織が出現し、あん摩・マッサージ・指圧業界とそれぞれに分かれ道を歩んできています。

我々はこのあはき業界をどのように進行させていこうとしているのでしょうか。

昭和22年12月20日、法律第217号をもってあはき法ができあがりました。＜医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。その中では医師以外の者であはきの業をしようとするものは、それぞれ免許を受けなければならない＞と記されていますが、リフレクソロジーやエステマッサージ等癒し系の場合はこの規制にあらずいわゆるグレーゾーンとして業務が成り立っています。

これらを明確化すること。それには一定のカリキュラムをもっての法律化が望ましいのではないのでしょうか。

では、鍼灸業界は安泰かというとそうでもなくなります。

刺さない鍼、小児鍼の名称をかえてみると＜“貼るテープ”で肩こりをリフレッシュ＞、＜“なでるローラー”で子供を元気に＞などどうともなるのです。これもグレーゾーンに入ってきます。抜け穴はいくらでもあります。鍼灸を医療として伝達していくには、医師も鍼灸を行ない保険点数に組み入れることしかないかもしれません。その時の条件として、一定の基準を満たした鍼灸師は同意書なしで保険使用できるとか、いろいろ考えます。

医師が鍼を使えば鍼灸師の処に必ず回ってきます。実力があれば必ず経営は豊かになると確信しています。

いま、岡山大学医学部総合内科では漢方外来をおこなっています。昭和54年に私は岡山大学麻酔科で外来にて鍼治療を行い、そこに来られた患者さんに、近所の鍼灸院を紹介したり、保険同意を麻酔科で行っていました。

総合内科で漢方と鍼治療が出来れば新たな発展となるかもしれません。今はまだ夢の中ですが。

とりあえず鍼灸の明るい未来は、弱少業界一丸となり、鍼灸再編の道に進むことができることではないかと思っています。

【この原稿は9月中旬に執筆されました】

＜あはき法…あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師等に関する法律＞



表紙の説明

【倉敷美観地区】

倉敷川を中心とする一帯は早くから干拓による田地の開発が進められていました。その後、慶長5年(1600年)に備中国奉行領となり、倉敷は松山藩の玄関港として上方への物資の輸送中継地となります。やがて寛永19年(1642年)に代官所が置かれ、天領となりました。

以後、幕府の保護や周辺の豊かな産物を背景に、物資の集積地として成長し、倉敷美観地区周辺一帯はさらに活気を帯びて行きました。

当時の倉敷川は潮の干満を利用して多くの船が航行しました。倉敷は物資輸送の集積地として、川沿いには、塗屋造りの町家や白壁土蔵造りを中心とする町並みが形成されていきます。

白壁土蔵のなまこ壁に、軒を連ねる格子窓の町家。そして川面に映る柳並木。倉敷川沿いには情緒豊かな町並みが形作られ、江戸・明治時代に作られた邸宅や土蔵など伝統的な建物が並ぶさまは、往時のにぎわいを感じさせます。昔ながらの町家は個性的な店舗に修復・再生され、「和と洋」「レトロとモダン」が絶妙に融合し、住む人の息づかいも聞こえてくる、現在を生きる町並みです。

(倉敷市公式観光サイトより引用)

平成29年度 第40回 定時総会開催の報告



<会場の様子>

報告者：総務部長 市村 由美子

日 時：平成29年 5 月21日（第 3 日曜日）13：30～

場 所：岡山市北区下石井 2 丁目6-41 ピュアリティまきび 3 F 飛翔

出席数：会員総数 230名 委任者数 102名

出席者数 51名 欠席者数 77名

理 事：内田輝和 中原眞行 国安俊成 松浦浩市 市村由美子

赤枝壽士 才野優一 馬場みずほ 西谷典人 高木謙輔

山口大輔 福原隆行 小原陸夫 吉田和彦

監 事：藤原秀雄 石部春子

《議 事》

（公社）岡山県鍼灸師会の平成29年度定時総会を開催するにあたり、上記社員並びに理事14名と監事 2 名が出席した。執行部より議長の選出に関して諮ったところ、出席者一同の中より執行部一任との声があり、執行部より選出した川西清隆・松本眞定の両氏が選出された。両者はこれを承諾し、議長席に登壇し、議長団は本日の定時総会が能率的に行われ建設的に討議されるように全員に協力を要請した。議長は発言し、執行部に定足数の確認を求め、本定時総会は会員総数230名中出席者51名と委任者数102名を加えて定足数を満たし、本総会が成立することを確認し、午後 2 時29分に開会を宣言して議事の討議に入った。議長は発言し、本総会の議事録署名人を誰にするか執行部に尋ねた。そして執行部は定款第20条に出席した会長と出席した監事とあるので内田輝和、藤原秀雄、石部春子である。そして書記を市村由美子、吉田和彦にしたいと回答し、議長はこれを会場に承認を求め、全員異議なくこれを承認した。

《会務報告》

1. 平成28年度事業報告の件
2. 平成29年度事業計画及び予算の件
3. 岡山県鍼灸師政治連盟の件

《議決案件》

- 第 1 号議案 平成28年度貸借対照表の件
 第 2 号議案 平成28年度正味財産増減計算書及び内訳書の件
 第 3 号議案 平成28年度財産目録の件

全て承認

松浦副会長より閉会の辞があり、15：20に終了した。



<会長挨拶>



<30年従事者表彰の様子

左から 藤井先生・西先生・鷺原先生>



<謝辞を述べる西先生>



<議長の川西先生と

副議長の松本先生>

会長コラム

多事鍼言

南海トラフ地震だ、ミサイル攻撃だと日本は樂園というイメージに影が見えてきている。国民の安心安全が、揺らぎだしたこのごろである。

身の安全のためには健康でなければ動きが取れない。日常から健康管理のストレッチが必要である。私は毎日30分間ストレッチ・筋トレ・太極拳を行なうのが朝の習慣となっている。そして週一度のスタッフによる鍼メンテナンスを行い多忙な日々を病気もせずに過ごすことができています。

ところで、つい先日、ゴルフを始めて半年の男性とラウンドをした。ゴルフを始める前から身体が硬くて肩こりがひどくなっていたが、ゴルフの為に毎日ストレッチをしていたら、身体は柔軟になり肩こりもなくスイングも良くなったという。見た目もゴルフ歴半年とは思えないスイングであった。

ストレッチに対する意気込みの違いを見た瞬間であった。



(公益社団法人) 日本鍼灸師会の メールマガジン登録をお願いします！

報告者：副会長 国安 俊成

(公社)日本鍼灸師会広報委員会ではメールマガジンの登録をお願いしています。(公社)岡山県鍼灸師会にもメールマガジンがあるように(公社)日本鍼灸師会にもメールマガジンがあり、全国の情報を発信しています。私も先日この情報から大阪府鍼灸師会に素問の講習を聞きに行ってきた。岡山の講習会にも県外から有名な講師の先生が来られますが、そのような先生方は他の県の講習にもよく呼ばれています。聞き逃したあの先生の講習が聞いてみたい。〇〇県に旅行に行きたいと思った時に講習も聞いて来よう。〇〇県では面白いテーマで講習を続けているなど、情報があればもっと計画的に動くことが出来ます。その様なツールとして是非(公社)日本鍼灸師会のメールマガジンをご利用ください。

(公社)日本鍼灸師会のメールマガジンは会員だけでなく、広く国民の皆様にも配信しています。国民の皆様には、健康サポートや東洋医学に関する内容、イベント情報を配信し、鍼灸施術の普及に努め、会員の先生に各種の連絡をさせて頂いています。またご自身で講習会、イベントなどの情報をお持ちの方は私までお知らせください。メールマガジンに掲載を依頼することもできます。9月23日配信のメールマガジンでは、10月8日(日)・9日(月祝)の全国大会in大阪「大大阪フェス」～伝統医療の振興～の案内、11月12日(日)のおかやまマラソン開催のお知らせと他県の先生方にもトレーナーとして岡山に来ていただけるようお願いしました。会員に身近な情報が沢山あります。

登録方法を下記に記載してありますので、この機会に是非、(公社)日本鍼灸師会メールマガジンに登録をお願いします。

《登録方法》

1. どなたでも登録できます。
2. 「(公社)日本鍼灸師会ホームページ」をクリック
3. 「メールマガジン登録はこちら」をクリック
4. 「登録する」をクリックして必要事項を入力して「登録」をクリック
5. 本人メールアドレスへ入会確認メールが届いたら「指定のURL」をクリック



以上でメルマガ登録は完了します。

福岡大洪水災害地医療＊岡山県チームボランティア報告

報告者：副会長 松浦 浩市

日 時：平成29年 7 月22日（土）

場 所：福岡県東峰村健康保険施設「いずみ館」1 階特設施術スペース

開設時間：13：00～18：00

参 加 者：（公社）岡山県鍼灸師会 松浦浩市・柳生良雄

（一社）岡山県マッサージ師会 佐藤定夫

（一社）岡山県鍼灸マッサージ師会 大島光稀

（福岡県）定村正之

利 用 者：男性 6 人・女性 7 人 計13人

施術内容：マッサージ13人うち鍼施術 4 人

新幹線で新鳥栖まで行きレンタカーにて被災地に入った。本来なら JR で最寄り駅まで入れるところだが、この水害により線路が寸断され不通となっていたため、急遽この方法での現地入りに踏み切った。現地ではボランティアの人たちが必死になって復旧活動を行っており、被災から 2 週間となる今、我々の活動が求められていた。今回は避難所でもある東峰村の健康保養施設「いずみ館」で活動した。

すでに福岡県鍼灸師会と（公社）全日本鍼灸マッサージ師会災害対策部の事前の調査と DMA T【災害派遣医療チーム、災害発生時に現場に急行し 医療活動を行う組織。傷病者の生命に関わる災害急性期（発災後のおおむね48時間）に活動するための専門トレーニングを受けている。Disaster Medical Assistance Team】と福岡 DMA T との調整により、岡山県チームもスムーズにケア活動が行えた。利用者は多くはなかったが一人ひとりゆっくりと施術することができた。

利用者の中には「ボランティア有休」を使って作業に参加し腰を痛めた上に泥に足を取られて手をつき肩が上がらなくなった方が来られ、施術後とても喜んで帰られた。

施設内は家に住めなくなって避難してきた方、ボランティア作業を終えて疲れを取りにお風呂に入りに来た方や宿泊（ごろ寝）をされる方もいた。医療スタッフも常時待機しており悲惨な中にも、衣食住や体調管理を確保できたという被災者の安堵感も感じ取れた。

今回の災害支援の印象は神戸の震災の時と比べボランティアの数の多さ、スムーズなシステムの早期設置など、スタッフの連携が充実してきたと感じた。

医療スタッフも「鍼マッサージの方ですね」と事前準備があったとはいえ、鍼灸師・マッサージ師の認識度も高くなったと感じた。

今後、災害時には迅速に対応できるよう支援チームを強化していきたい。



<ボランティア施術風景>



平成29年度 各部の事業報告 ー前期ー

鍼灸知識の振興及び普及に関する事業

第6回岡山城・後楽園カヌー駅伝大会ケアステーション開設報告

報告者：藤原 秀雄

平成29年4月16日（日）備前岡山京橋朝市会場のカヌー駅伝大会会場にテント3張に携帯ベッド5台と良導絡自律神経測定機器を配置しスタッフ16名で対応した。

7：00に集合しケアリーダーの小原陸夫先生による点呼とケアステーションの運営についての説明をした後、設営に取り掛かり、8：00より施術を開始した。

昨年の大会より1週間遅れての開催となり早朝より雲一つない快晴で泊まりの選手や続々と到着してきた選手が受療に訪れ開会式の11：00までは第一ピークで慌ただしく時間が過ぎた。第二ピークは大会が始まるとスタッフの方々が体調の不良を訴え次々に訪れ待ち時間もできる状態となった。

今回も日本良導絡自律神経学会中四国ブロックの協力を得て受付後、良導絡測定を行い、自律神経状態を確認後、施術開始とした。また、備前百会灸の会Rにも協力していただきケア会場ではお灸体験がとても好評であった。結果、昨年は60名程度の受療者であったが今回は89名の受療者数となった。競技終了後の時間には救命講習会も行われ参加した。

今回のケアスタッフ16名中会員は8名、学生5名、会員外有資格者3名で若手を中心の参加であった。丁度この日は津山加茂郷フルマラソン大会と重なりスタッフが分散された。



<テント内の施術の様子>



<カヌー駅伝スタート>



<良導絡自律神経測定>



<備前百会灸の体験>

第25回津山加茂郷フルマラソン全国大会

第5回スポーツ鍼マッサージケアステーション開設 感想

平成29年4月16日(日)。一昨年は天候に悩まされた大会でしたが、本年は気候に恵まれ、爽やかな大会となりました。昨年は(公社)岡山県鍼灸師会が参加することが出来ず、ケアステーション利用者の減少を懸念しましたが、多くの人が訪れ、盛況な大会となりました。また養成校の若者達とも話すことが出来、将来の夢を聴き初々しさと熱意を感じました。マラソンのトレーナーはスポーツを知るいい機会になると思います。



鍼灸師会の活動は4月の加茂マラソンと11月のおかやまマラソンなど実際のフィールドでトレーナーの経験をする事が出来ます。まだ参加されたことのない先生方は是非ご参加下さい。毎年3月と9月には参加のためのセミナーも行われます。また情報はメルマガ等からも発信されます。情報源としてのメルマガジンの登録も宜しくお願いします。

【報告者：副会長 国安 俊成】

1年ぶりの加茂郷フルマラソンのケアステーションで、今回も参加されたランナーの方とケアの間に色々なお話もさせていただきましたし、先生方とも話す機会や施術をみる機会もありとても充実した1日だったと思います。

【報告者：会員 小野 由実子】

第3回おかやまマラソンケアステーション準備着々進行中！

報告者：学術部長兼トレーナー委員会 山口 大輔

第3回おかやまマラソンケアステーション(11月12日(日))の準備が着々と進んでいます。

このケアステーションの運営は県下の業団【(公社)岡山県柔道整復師会・(一社)岡山県鍼灸マッサージ師会・(一社)岡山県マッサージ師会・(公社)岡山県鍼灸師会】が力を合わせ大会の成功に一丸となり準備におわれています。

今年の参加者は昨年(1万5千人)を上回るようで、抽選で参加できない方が多く出るそうです。全国的にマラソン大会は転換期に入っていると言われており、今まで盛大に行われていた大会が同地区の他の大会日程と近いことで参加者が減り、また、その逆のケースもあるようです。ランナーの皆さんはそれぞれローテーションを決めて参加されるようで、私は以前の大会で台湾の方のケアをし、前は香港の方をケアしましたが、この方は日本のマラソン大会に参加するのが趣味で、東京、神戸などを多く経験されていました。

2020年のオリンピック・パラリンピックが近づき、各地で色々な国の色々な競技の合宿が始まっています。オリンピックがきっかけになって、国と国の付き合いとともに、人と人の付き合いができるようになって欲しいと思います。

【ケアステーション開催要項】



開催日：平成29年11月12日(日)

開設時間：6:30~16:00(時間に間に合わない方は事前にお知らせください。)

開設場所：岡山総合運動公園内特設ケアテント内

集合時間：6:00(特設テント前)

集合場所：多目的広場西側ケアステーション前

活動内容：鍼、マッサージ、ストレッチ、アイシングなど

(公社)岡山県鍼灸師会

平成29年度 第1回学術講習会 開催報告

報告者：学術部長 山口 大輔

平成29年7月30日(日)朝日医療大学校で(公社)岡山県鍼灸師会第1回学術講習会が開催されました。第1回目の講師は、毎年お世話になっている明治国際医療大学特任教授 矢野 忠先生に「皮膚へのアプローチがここに及ぼす影響について」～身心の健康及び心の病に対する鍼灸療法の可能性～をテーマに講演いただきました。ご講演では、現在問題となっている生活習慣病や高齢者疾患に加え、心の病が急増してきて疾病構造の変容が懸念されている近年、まさに鍼灸療法の出番であると力説されました。鍼灸療法は、患者を診る際、よく話を聞いて、しっかり触って、個々が抱える問題を解決するため柔軟で丁寧な医療が提供できる。このようなオーダーメイド医療こそ現代にマッチする。また、患者に直接触れるということが治療効果や心によい影響を与えるため、しっかり触って診療を行ってほしいと述べられた。鍼灸療法の良さを再認識できる講演であった。



＜講演の様子＞

平成29年度 学術講習会 開催予定

業につながる大切な講習会です。会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

【平成29年10月29日(日)】

* 10:00～11:00

「災害支援鍼灸師」について(伝達講習)

(公社)岡山県鍼灸師会理事 高木謙輔

* 11:00～12:00

「介護予防講座」 (公社)岡山県鍼灸師会理事 吉田和彦

* 13:00～16:45

「病態生理シリーズ・痛み」

東京衛生学園 東洋医療臨床教育専攻科講師 杏林堂院長 小川卓良先生

【平成30年1月21日(日)】

* 10:00～12:00

専門領域研修講座(スポーツ傷害)「スポーツ傷害の臨床」2単位

朝日医療大学校 学校長 医師 柚木脩先生

* 13:00～16:45

専門領域研修講座(スポーツ傷害)「スポーツ傷害の鍼灸治療」5単位

(公社)岡山県鍼灸師会理事 朝日医療大学校 副学校長 山口大輔先生

【平成30年3月18日(日)】

スポーツボランティア事前研修

「フルマラソンケアステーションボランティアに必要な知識とスキル」

(公社)岡山県鍼灸師会理事 朝日医療大学校 副学校長 山口大輔先生

いきいき元気講座～健康長寿への近道 開催報告

報告者：介護福祉部長 吉田 和彦

スタッフ：会員5名

毎年恒例になりました一般市民を対象とした介護福祉部主催のいきいき元気講座を開催しました。

今回は平成29年8月27日(日)、スタッフ5名で講座に臨みました。岡西公民館を会場とし、公民館側にもご協力頂き、チラシを置かせていただきました。開催前日に公民館に伺ったところ、置いていたチラシは全て無くなっており、参加者24名の全員が公民館周辺地域の方でした。

ツボを使ったストレッチの反応はとても良く、講座終了後もツボについての質問が多かったです。また、CGTトレーニングや脳トレのゲームなどを楽しんで頂き、翌日、楽しかったのでまた実施してほしいと感想の連絡をくれた方もいて、介護予防と東洋医学を絡めて実施することが、良い効果を生んでいるように感じました。



＜講座（脳トレ）の様子＞



＜ツボ指導の様子＞

終了後の反省として、ツボ押しをする場所にパイオネックスを先に貼っておき、そこを触ってもらってはどうか等といった意見もありました。今回はスライドを使用しましたが、もう少し内容も今後検討しながら、鍼灸師会で実施する介護予防をマニュアル化し、一般の方が楽しく参加して頂けるような講座を、多くの先生に各公民館で実施して頂ければと考えています。

鍼灸術を通じて社会奉仕活動に関する事業＜子育て支援事業＞

わくわく子ども祭り 親子スキンタッチボランティア参加のお願い

報告者：青年部長 福原 隆行

例年参加しております、「わくわく子ども祭りin岡山ドーム」が11月5日(日)10:00～15:00に岡山市北区北瀬表町の岡山ドームにて開催されます。

今年も親子スキンタッチ教室のブースを開設致します。毎年18,000人が来場するにぎやかな子育てイベントです。小児鍼をもとに鍼灸の普及を目的として親子スキンタッチ教室を行いますので、ぜひスタッフとしてご協力頂けますようご案内致します。近県の仲間も協力してくれますので、小児鍼の経験の少ない先生や学生さんも大変勉強になると思います。丁寧に指導致しますので、安心してご参加ください。午前、午後の方の参加でもかまいません。多くのご参加をお待ちしております！

第4回AMDA災害鍼灸チーム育成プログラム報告

報告者：副会長 国安 俊成

7月22日・23日は、第4回AMDA災害鍼灸チーム育成プログラムが行われ、冒頭に、(公社)岡山県鍼灸師会と認定特定非営利活動法人AMDAとの協定(MOU)調印式が行われた。本会の内田会長も、AMDAの菅波理事長も次のように言及された。鍼灸治療は触れる医療であり、不条理な環境に置かれた人にとって、お話を丁寧にききながら、触れて治療できるということはどれほど心と体が癒されるか。そしてインフラが整わず、道具もままならないなかでできる医療が鍼灸であり、窮屈な避難所生活でストレスから肩こりや腰痛、便秘などで困る人を治療できる。この「触れる」ということと、物が整わない中でもできるのが鍼灸という医療だということが、東日本大震災や今回の熊本地震での活動報告でも強く語られていた。



<(公社)岡山県鍼灸師会
内田輝和会長>



<AMDA
菅波茂理事長>



<連携協力に関する協定>

翌23日は第4回南海トラフ災害対応プラットフォーム調整会議が開催された。この会議は南海トラフ災害に備えた会議で、岡山、香川、徳島、高知の14自治体はじめ全国の医療・教育機関、海外のNGOなど約70団体約270人が具体的な対応策を協議した。

本師会としても、他会の鍼灸師・マッサージ師とも連携しながら災害鍼灸チームを作り、緊急時の対応に備えたい。

〈問い合わせ・登録〉

(公社)岡山県鍼灸師会 災害支援対策本部事務局 高木謙輔
TEL: 080-2943-3323 E-mail kensuke.571208@gmail.com



「平成29年度災害支援鍼灸師養成講座岡山」 開催のご案内

(公社)岡山県鍼灸師会 普及部長 高木 謙輔

「平成29年度災害支援鍼灸師養成講座岡山」を下記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。(公社)日本鍼灸師会のこの講座は本年度、熊本、静岡、山梨、岡山の4県で開催されます。この度の岡山での開催は中国四国ブロックの先生方、近県の先生方にはお近くで(公社)日本鍼灸師会の災害支援鍼灸師養成講座を受講できるチャンスだと思います。内容として、なぜ災害支援は地域医療に繋がるか、心理士の先生のお話は災害現場で被災者の方々の様に接するべきかという課題に対応します。またこの度は先日協定をお結びいただきました、岡山に本部をおきます認定特定非営利法人AMDAより講師をお招きし、南海トラフ地震の想定と、対応について、そして我々鍼灸師の役割についてご講演頂きます。これから災害の現場に参加されようとお考えの先生方、学生の方、又今までに災害現場に参加されて疑問を持たれた先生など多くの方々のお役に立つことと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

〈開催日時〉 平成30年2月11日(日) 9:00~17:00

〈会場〉 岡山国際交流センター B1 レセプションホール
岡山市北区奉還町2-2-1

〈プログラム〉

9:00~9:20 受付

9:20~10:50 「危機管理の現状」

(公社)日本鍼灸師会 業務執行理事 危機管理委員長 堀口先生

11:00~12:30 「災害者への接し方：害を与えない関わり方PFA」

人間科学博士・認定臨床心理士 大澤智子先生

13:20~15:20 「災害医療概論」

(公社)日本鍼灸師会 危機管理委員 秦 宗広先生

15:20~16:50 「南海トラフ地震発生時のアムダの活動と災害現場での鍼灸師の役割」

認定特定非営利活動法人AMDA GPSP支援局長・理事 難波 妙先生

〈参加費〉 5,000円(個人)

主催 (公社)岡山県鍼灸師会

共催 (公社)日本鍼灸師会

〈問い合わせ〉

(公社)岡山県鍼灸師会 災害ボランティア委員長 高木謙輔

TEL: 080-2943-3323 E-mail: kensuke.571208@gmail.com



第4回東洋医学鍼灸展 in 岡山 開催報告

報告者：普及部長 高木 謙輔

平成29年7月30日(日)10:00~16:00まで、朝日医療大学校内において、(公社)岡山県鍼灸師会主催「第4回東洋医学鍼灸展 in おかやま」が開催されました。今回は講師に(公社)大阪府鍼灸師会より吉村春生先生をお招きし、「擦過鍼を使った認知症への対応」と題して講演をしていただきました。

8:30に現地に集合し、机やいすを並べ変え、体験ブースの設置や、講演の教室の準備、パネル展示など会場設営を行いました。



<準備を始めるスタッフ>



<吉村先生の講演の様子>

9:30になり受付を開始。吉村先生の講演を聞きに徐々に人が集まり始めました。先生の講演が始まると皆、真剣に耳を傾けていました。擦過鍼の歴史や皮膚の生理学的なお話、認知症の発生機序、大阪での実際の活動など2時間にわたり講演をしていただきました。

講演の最後には吉村先生によるデモンストレーションがあり参加者みんなで先生を囲み写真撮影や対話形式で質疑応答が行われました。

受講者は先生が実際に使用されている擦過鍼を手にとってじっくりと眺めていました。この擦過鍼は吉村先生のオリジナルとのことでした。



<デモンストレーションの様子>



<アルミ製の独特な形をした実際に使用されている擦過鍼>

午後は13:00より(公社)岡山県鍼灸師会の吉田和彦先生による介護予防講座から始まりました。内容は鍼灸師ならではのツボを使ったストレッチや頭の体操が行われました。受講者は頭と体が一緒に動かず混乱してしまう様子など、終始にこやかな表情で講座を受けられていました。

13:55から当会の福原隆行先生による親子スキンタッチ教室でした。スプーンや歯ブラシを使って皮膚をさする方法やドライヤーで温めるやり方を子供のマネキンを用いて指導されました。



<吉田先生の講演の様子>



<福原先生の講演の様子>

13:00より同時進行で講座教室の外では健康相談・鍼体験会も行われ、ベテラン鍼灸師がこのブースを担当し運営されました。

16:00になり片づけをして最後に集合写真を撮ってイベントは終了しました。



<相談会の様子>



<イベント終了後集合写真>

～鍼灸展を終えて～

参加者は31名で岡山市内やその他各地域からも来ていただきました。アンケートでは「擦過鍼」について「このようなアプローチのやり方があるとは知らなかった。」「非常に勉強になった。」「認知症に対するエビデンスを教えてほしい」などの感想を頂いた。吉村先生の講演と午後の介護予防やスキンタッチ教室の内容と通じる部分があり共通の理解が会話の中で行われたように思います。どの先生もとても分かりやすく、且つ興味を引く内容だったので参加された皆さんもかなり真剣に聞いていただけたのではないかと思います。講座教室外の体験ブースは利用人数が少なく少し寂しい結果となりましたが、この課題を次回に生かし全日程を通して参加していただけるような内容にしていきたいと思います。

編集後記

★秋晴れが気持ちよく、運動するのは最適な季節になりました。これといって運動をしていませんが、健康維持のため何か運動を始めたいと太極拳を検討しています。内田会長もされている太極拳は、気を全身に巡らすことで心身を調整し、施術にも応用できると思います。下半身強化にもなり、転倒予防にも最適です。まずは見学から行ってみます。

小原 陸夫



発 行 (公社)岡山県鍼灸師会

発 行 者 内田 輝和

編 集 長 小原 陸夫

編集委員 Y.I H.F T.K

事 務 局 〒700-0901 岡山市北区本町5-20 TEL/FAX 086-224-2721

HP <http://okayama.harikyu.or.jp/>



明日の医療人を育む

朝日医療大学校

ASAHI COLLEGE OF MEDICAL AND HEALTH PROFESSIONALS

原点は人、伝えたい技術とところ

看護学科



鍼灸学科



柔道整復学科



理学療法学科



言語聴覚学科



歯科衛生学科



岡山駅西口から徒歩5分!

 看護学科

4年制 昼間部

 理学療法学科

4年制 昼間部・夜間部

 鍼灸学科

3年制 昼間部・夜間部

 言語聴覚学科

2年制 昼間部 ※4年制大学卒業生対象

 柔道整復学科

3年制 昼間部・夜間部

 歯科衛生学科

3年制 昼間部 ※女子のみ

☎0120-700-350 (受付時間/平日9:00~18:00)

<http://asahi.ac.jp>  support@asahi.ac.jp



〒700-0026 岡山市北区奉還町2丁目7番1号
TEL 086-255-2000 FAX 086-255-2010

MARUBISHI
HEALTHY & YOUTHFUL LIFE

頑張るあなたに健康サポート！

温熱導子

家庭用低周波治療器
サン **マッサーホット 33**



認証番号: 227ADBZX00040000

肩こり
腰
の痛みに

血行
促進

疲労
回復

ひじ
ひざ
の痛みに

神経痛
筋肉痛
の痛みに

日頃の疲れを癒し、リフレッシュ。
からだにやさしいサンマッサーが
暖かく心地よい結構の流れを良くし、
痛みを和らげます。



★適応症 ・肩こりの緩解 ・マッサージ効果
・麻痺した筋肉の萎縮の予防

製造・販売元



丸菱産業株式会社

中国・四国地区統括

(社)日本病院会賛助会員 日本病院共済会指定店

岡山県岡山市東区広谷385-24-153

TEL 086-237-8058 FAX 086-943-8100

今お使いの鍼で満足されていますか!!

【商品紹介】

- | | | |
|---------|----------|------------------------|
| * 毫鍼 | * 針管鍼 | * スポーツ針管鍼(ER 鍼のディスプレイ) |
| * 金粒・銀粒 | * 自社製中国鍼 | * 皮内針 * テープ付き円皮針 |

この他に鍼灸に係わる製品の販売及び医療賠償保険の取り扱いを行っております
また、健康食品・にがり・ペプチド・水溶性濃縮ミネラル等お問い合わせ下さい

TMP 大宝医科工業株式会社

〒731-0211 広島市安佐北区三入 1-25-9

TEL 082-818-2511・FAX 082-818-3513

Eメール I-ken@enjoy.ne.jp

URL <http://www.i-jinnet.com/taiho/>



～ひとりでできるツボ養生法 その3～

食欲の秋！あなたの胃腸大丈夫ですか？



青年部提供：和鍼灸整骨院勤務 榎野 加奈子・鳥越 朋子
(イラスト・文章とも)

今年の夏は暑かったですね。少しずつ気温が下がってきて、食欲が落ちていた人も徐々に食べる量が増えてきたのではないのでしょうか。また秋はおいしい食べ物が多く実る時期でもあり、口に運ぶ機会が増えるかもしれませんね。

東洋医学では胃腸の不調の原因として、熱や寒さに犯されるものと、食物が一晩たっても消化されず滞ることによっておこるものがあります。熱による症状として、ストレスや偏食（油っこいもの、甘いもの、辛いもの）などにより、食欲の亢進や食後の空腹感、口臭、便秘などを・ります。寒さによる症状としては、冷たいものの摂り過ぎや、気温の変化により体が冷えて痛みを伴い下痢をするものもあります。また食物が胃に滞り、つかえて苦しくなり、呑酸やゲップがたかさんでることもあります。

季節の変わり目で自律神経の乱れもあり体の様々な不調が出やすくなってきます。

そこで自律神経を整えつつ、胃腸を元気にするツボをお教えいたしましょう。是非、毎日の生活で役立ててくださいね。

〈対策〉

○食べ過ぎには

- ・よく噛む
- ・食事の最初に汁物を摂取する
- ・発酵食品（納豆・ヨーグルト・みそ汁・キムチなど）

○自律神経の乱れには

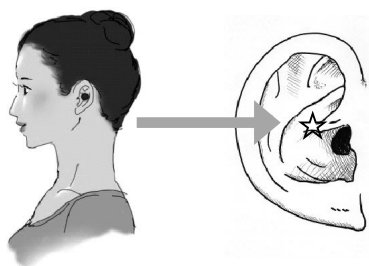
- ・質の良い睡眠をとる
- ・ストレス解消
- ・適度な運動
- ・お風呂に浸かる

★今回のツボはココ★

※ツボ押しは強く押す必要はありません。

気持ち良いくらいに～♪

胃点



【胃点】

耳の穴の上、横に走る軟骨の外側の先端。
食欲を抑えてくれるツボです。
食事の30分くらい前に押すとよいです。

【足三里】

膝のお皿の外側のくぼみから手指
4本分下で、すねの骨の外側。
万能のツボで、胃腸の調子を整えたり、
疲労回復に効果があります。



足三里



【百会】

頭の正中線上、左右の耳の先端を結んで交わる所。

押すだけでも自律神経調節に効果はありますが、よりリラックスさせたい時は後ろから前へ、気合を入れたい時は前から後ろへなでるといいですよ。



以上のことに気をつけながら、楽しくおいしく季節の恵みを頂きましょう！

鍼灸は国家資格です。当師会に加入している治療院は、
安心して治療を受けて頂けます。是非ご来院下さい。